



おとふけ

社協だより

No. 147

発行 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会 音更町大通 11 丁目 1 番地 ☎ 0155-42-2400
E-mail : otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jp
HP : http://otofuke-shakyo.jp

令和 2 年 12 月 25 日

年頭のあいさつ

音更町社会福祉協議会
会長 河田さえ子



明けましておめでとうございます。

日頃は音更町社会福祉協議会の運営ならびに事業活動に対しまして、温かいご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界規模で流行したことで、まさに未曾有の状況となり、従来の生活様式は一変してしまいました。

十勝管内でも感染が拡大し、町民の皆様にとっても不安を抱えながらの毎日であろうと思います。

私たち社会福祉協議会としてもコロナ禍の影響を大きく受け、地域福祉を推進するうえで人と人との繋がりを大切にしてきた、いわゆる「交流」を主とした事業の殆どは中止となりました。

しかしそのような状況下においても「三密」を避けながら取り組める地域福祉活動を、町民皆様からのお知恵をいただきながら推進してきた1年でもありました。

ウィズコロナと呼ばれる時代はまだしばらく続きそうですが、ソーシャル（社会的）ディスタンス（距離）が推奨されている中、それが心と心の距離に直結してはいけないと思います。

身体的な距離は保ちつつも、地域住民の心を繋げ、そして支援を必要としている方の心に寄り添えるような活動を今後も取り組んでまいります。

本年においても社会福祉協議会の活動に一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、コロナ禍で日々大変なことと存じますが、町民皆様にとって幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



令和2年度 市民後見人養成研修が修了しました

令和2年9月3日に開講した「令和2年度 音更町市民後見人養成研修」が10月15日に閉講し、7日間の研修を修め、8名の皆様が修了証書を手に入れました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が各地で流行する中、受講された方には感染対策として、消毒、体温測定など健康管理に留意していただき、無事に修了することができました。

修了者のうち、4名の方が、社会福祉協議会が実施する法人後見の「法人後見支援員」として登録し、今後も研修等を受けながら、成年後見の実務を担う予定です。（写真撮影の際のみマスクを外しています。）

成年後見制度とは…？

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、十分な判断をすることができない人が、財産の取り引きなどの契約や各種手続きを行なう際に、一方的に不利な契約を結ばないよう法律面で支援するとともに、適切な医療・福祉サービスにつなげるなど、生活面でも支援し、本人の権利や財産を守ることを目的とした制度です。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金助成金が使われています。



「コミュニティサポート事業」

本会では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりの一環として、12月より「コミュニティサポート事業」を開始しました。具体的には次の3つの事業を行っております。コミュニティサポート事業は、本会職員だけでなく、養成講座を修了した一般町民の方にもコミュニティサポーターとして協力いただきながら取り組んでいきます。

29名が
サポーター
登録!!

《コミュニティサポーター養成講座》

令和2年10月21日（水）に第1回目の養成講座を開催し、34名に受講いただき、その中の29名の方にコミュニティサポーターとして登録いただきました。

養成講座では、音更町高齢者福祉課の及川亜里主任保健師から「認知症の理解」、帯広大谷短期大学社会福祉科佐藤千恵教授から「在宅訪問の心構え」についてそれぞれご講義いただいたほか、本別町でひとり暮らし高齢者や認知症の方のお宅に訪問ボランティアとして活動している方のお話を伺いました。長時間にわたる研修でしたが、受講者の皆様には今後の活動に必要なことを学んでいただけました。



鍵は本会が預かります。
コミュニティサポーターや関係機関が
日常の声がけで協力します。

1 緊急時安否確認（鍵預かり）モデル事業

本会にて利用希望者の鍵を預かり、緊急時には関係機関との連携により入室し安否確認を行います。平常時はコミュニティサポーターや関係機関（音更町あんしんネットワーク、地区担当地域包括支援センター等）による見守り活動を行います（令和2年度はモデル事業として実施）。

・対象者：75歳以上のひとり暮らし高齢者等（音更中学校区、駒場中学校区の方）

こんな方のために

- ・ 自宅で倒れた時に誰も気づいてくれないのではないかと。
- ・ 何かあった時は合鍵を使って安否確認してほしい。



令和2年12月から開始しました！

2 あんしんお預かり事業

この事業は本会職員が行います。

何らかの理由により一時的に生活を維持するための払い戻しや支払いができない状態になり、他に適切な支援者が不在の場合、利用希望者との契約により本会が通帳の預かりや入出金の支援代行をします。

- ・対象者：①一時的に町内の病院・施設に入院・入所している方
- ②在宅生活を営む上において、本人または親族による適切な金銭管理が困難な方
- ③日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用予定の方

こんな方のために

入院することになったけど、銀行に行けない。入院費の支払いどうしよう…。

3 見守り訪問事業

コミュニティサポーターが訪問します。

在宅で生活している認知症の症状がある方のご自宅にコミュニティサポーターが訪問し、話し相手や介護者不在時の留守番、本人の趣味活動等の見守りを行います。

- ・対象者：要介護認定又は要支援認定を受けている認知症の症状を有する方

こんな方のために

- ・家族が認知症でお世が大変。たまには息抜きしたい
- ・認知症の本人がいつも家に閉じこもっているので、家族以外の人との交流の機会を増やしたい



《ご利用希望の場合》

まずはお気軽にご相談ください。

ご本人以外でも、ご家族等からのお問い合わせにも対応いたします。

【問い合わせ】 地域福祉係 ☎42-2400

住民同士の支え合いのしくみづくり



令和2年度も地域でのラジオ体操終了

令和元年度から始まった2つのラジオ体操「みんなでラジオ体操」(雄飛が丘南公園)、「おはよう広場」(音更町総合福祉センター前)ですが、令和2年度も終了しました。

毎日取り組むことで、ちょっとした社会参加や見守り合いの場になっていたりするようです。



「身近なきずなづくり」ということや、自宅で過ごす人や人と会わなかったりする人の「外出のキッカケづくり」になるようにと昨年7月、福祉センター近隣の町内会や有志が主体となり発足。ラジオ体操を通して地域のつながりや絆が深まり、声かけや見守り活動にも役立っています。今年度は、7月1日～11月6日まで実施。延べ人数2,058人が、身体を動かし体力づくりに取り組みました。

「おはよう広場」事務局 高田徹子

こんなことにも期待

ラジオ体操を通して生まれた関係性の中でお互いのちょっとした困りごとを助け合えるようになっていけると素晴らしいのではないのでしょうか？

あなたの地域でラジオ体操を取り組んでみませんか？

来年は、あなたの住む町内会や老人クラブ、有志の会などでラジオ体操を始めてみませんか？コロナ禍でも取り組み、自然と参加者同士の交流も生まれる活動です。興味のある方はご相談ください。

【問い合わせ】地域福祉係 ☎42-2400

医療的ケア児※の日は始まりました♪

子育てサロン「おとぷけ通りくるみ」で、医療的ケアを必要とするお子さんとその親御さんが利用できる「医療的ケア児の日」をはじめました。当事者同士が集まり情報交換や悩み困りごとなど共に考え支えあい、親の想いに寄り添える居場所づくりを目的としています。

こんな声から…

「感染リスクを考えると外出が難しい」
「子どもに小集団での活動をさせてあげたいが、行く場がない」
「子どもが生まれてから一度も熟睡したことがない」

参加者の声

母親業を少しの時間だけ休んで、似たような境遇のお母さん同士でお茶を飲みながらあれこれお話できる貴重な日です。子どもの病気のことも、ひとりで考え込むことなく吐き出して聞いてもらうだけで、また次の日からも頑張っていこうと思えます。娘も沢山のおもちゃでのびのびと遊ぶことができ親子共に大好きな場所です。こういう機会を作ってくれた友子先生に感謝しています!!



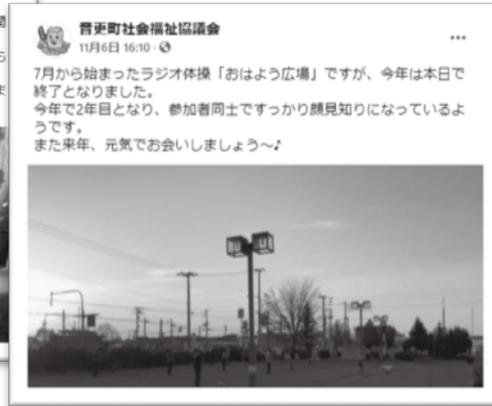
(医療的ケア児の日は…)

場 所：音更町東通13丁目3番地 おとぷけ通り(更葉園敷地内)
日 時：毎月第1・3金曜日9:30～12:00(13:00からは一般開放)
問合せ：080-6078-2011 (中村友子)
※インスタで情報発信してます (kurumi.kosodate)

※医療的ケア児とは、日常生活で医療行為(たんの吸引、酸素吸入、経管栄養)を必要とする子ども

フェイスブックはじめました

本会で実施する事業や町民主体の活動について情報発信しています。
ぜひご覧ください！ スマートフォンの方はこちらから！ →



※本会ホームページからもご覧いただけます。⇒<http://otofuke-shakyo.jp/>

老人クラブ連合会事務局からのお知らせ

●ひとり暮らし会員へ友愛訪問実施

音更町老人クラブ連合会では、毎年12月に70歳以上の1人暮らしの会員に対して、友愛訪問を実施しています。今年度、対象となった会員は409名。単位老人クラブごとに対象者のご自宅を訪問し、声かけと記念品をお渡ししました。

昭和老人クラブ津島勇会長（右写真）には、8名の会員宅に声かけ訪問していただきました。



●万年老人クラブが全道老人クラブ連合会会員増強運動特別賞

～スローガンは「住んでみたい、住んでよかったと言える、地域を一緒につくろう」～



今年12月開催予定の第57回全道老人クラブ大会は、新型コロナウイルス感染症のため延期になりましたが、会員増強運動で、音更町の万年老人クラブ（大場博義会長）が特別賞を受賞しました。

万年老人クラブでは、地域の石碑の保守・保存、幹線道の清掃（見つけたらすぐ拾う）、ゴミステーションの彩り（塗装）など、自分たちの「暮らしの空間づくり」や米寿の祝い、歌サロンといった「地域の交流」といったことに取り組んできました。

全国的に老人クラブ会員減少が課題となる中、会員が増加したクラブとして、十勝地区では、わずか5クラブのうちの1クラブとしての受賞です。

* ご厚志ありがとうございました * 令和2年9月4日～令和2年11月19日

預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の行ってます各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源として行っております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

◎金 銭

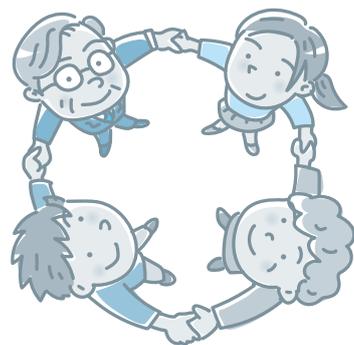
(敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金(円)	寄 付 金 使 途
前田 廣	50,000	社協事業へ
恩田 喬 「母親がお世話になりました」	50,000	
匿名	50,000	
匿名	100,000	
匿名	1,000	
匿名	21,000	法人後見事業

◎物 品

(敬称略)

預託品名	預託者氏名	数 量	
リングブル	国際ソロプチミストおとふけ	2.2kg	プルネット
	林 孝	60kg	
	清和ともしびの会	2.3kg	
	鳥内 妙子	1.5kg	
	柳町北区町内会有志一同	8.6kg	
	小野 博克	数量不明	
	音更柳町簡易郵便局	10.6kg	
	山本 康晴	115g	
	青葉町内会	4kg	
南鈴蘭愛生会	500g		
使用済み切手	鳥内 妙子	724枚	北海道ユニセフ
	(株)ベータプラン	数量不明	
	音更柳町簡易郵便局	1kg	
	南鈴蘭愛生会	500枚	
	匿名	320枚	
	匿名	92枚	
テレフォンカード	匿名	5枚	
ベルマーク	鳥内 妙子	443.5点	町内小学校
	匿名	228枚	
雑巾	中央福寿会	45枚	町内福祉施設
じゃがいも	谷崎 潤一	300kg	町内福祉施設
かぼちゃ	谷崎 潤一	100kg	子ども食堂



『喫茶はっぴい〜』で働いてみませんか？

音更町社会福祉協議会では、心身に障がいがあり就労場所の確保がむずかしい方のために「喫茶はっぴい〜」を運営しています。日常の中で何か自分の得意とするものを見つけて、楽しい生活を送ることができるように本会で支援いたします。まずは体験してみませんか。作業については先輩やボランティアさんがサポートしてくれますので安心してください。

【主なお仕事の内容】 ●開店・閉店の準備や片づけ ●コーヒーなど飲み物の提供 ●接客 ●食器洗い ●会計 など

【利用の条件】 ●心身に障害があり、働く場が確保できない方（手帳の有無は問いません）

●お仕事1回につき1,000円の支援費をお支払します

【場 所】 「喫茶はっぴい〜」 音更町大通11丁目1番地 総合福祉センター内

【時 間】 午前10時～午後3時15分 ※週に1～2回程度の活動（土・日・祝祭日・休館日除く）

【お手伝いしていただけるボランティアさん同時募集！】

はっぴい〜で働く障がい者の方と一緒に喫茶の補助をしていただけるボランティアさんを募集しています。興味のある方はぜひ見学に来てください。体験だけでも可能です。

作業内容：簡単な調理・洗い物など月に1～2回の活動になります（活動できる日のご都合をお聞きます。）

【問合せ】 住所：音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内 電話：42-5005（担当：青木）